

研修プログラム概要

研修期間	1.5 年間
研修病院（代表病院）	戸田中央総合病院（A）
研修協力病院（パートナー病院）	戸田中央リハビリテーション病院（B）、新座病院（C）、一橋病院（D）、世田谷神経内科病院（E）、大田池上病院（F）
研修協力薬局（パートナー薬局）	アカネサポート薬局（G）

区分	研修項目 【ガイドライン推奨期間】	研修期間	研修時期	研修施設	研修のポイント・特色
必修	(1) 調剤業務 【3ヶ月程度】	3～4ヶ月	4-8月	A～F	・調剤、注射、製剤、疑義の実施 ・自己注射手技指導の習得
必修	(2) 医薬品の供給と管理 【2週間以上】	1ヶ月	5-8月	A～F	・医薬品の供給：欠品時の対応実践 ・麻薬、向精神薬、覚醒剤原料、毒劇薬、特定生物由来製品等の管理
必修	(3) 医薬品情報管理(DI) 【2週間～1ヶ月】	2週間	8-11月	A～F	・質疑応答の実践 ・DIニュースの作成
必修	(4) 病棟業務 (薬剤管理指導) 【6ヶ月程度】	12ヶ月	9-翌年9月	A～F	・複数病棟の業務実施 ・担当患者を持って研修実施, 介入症例の報告 ・カンファレンス、回診等への参加
必修	(5) 在宅訪問 【1ヶ月程度】	適宜	1-3月	C、G	・医師や看護師の訪問診療に同席
必修	(6) 医療安全 【全期間】	全期間	通年	全ての施設	・KYT、事例情報による訓練の実施
必修	(7) 感染制御 【全期間】	全期間	通年	全ての施設	・ICT、ASTラウンドの参加 ・標準予防策の実践
必修	(8) 地域連携 【全期間】	全期間	通年	A、D、F	・薬局からの疑義照会対応、プロトコルの実践
必修	(9) 無菌調製 【2週間】	2週間	5-7月	A、D～F	・高カロリー輸液、抗がん剤の無菌調製手技 ・硬膜外麻酔薬の調製手技
必修	(10) がん化学療法 【1ヶ月】	2週間	9-12月	A、D	・レジメンチェック、支持療法の提案 ・薬剤師外来への参加
選択	(11) TDM	1日	10-2月	A、C～E	・解析ソフトの活用 ・解析・投与設計レポート作成
選択	(12) 専門領域 (ICU・小児の薬物治療等)	1週間	1-3月	A、F	・周術期薬剤管理の実践
選択	(13) その他				

補足事項 在宅訪問に関しては、1日は他職種の訪問診療に同席する。
所属施設により研修時期は異なります。